

明治期の光と影



主人公
太田豊太郎

- 明治政府が派遣した留学生
- エリート官僚への道を歩む

ベルリンの大学

- 価値観を大きく揺さぶられる
- これまで自分は「受け身」だった

階級の壁に阻まれる愛

悲恋

- 豊太郎と踊り子エリス



- ⇒ 周りから「遊んでいる」と誤解される

二人とも失職

- 誰にも頼れず先も見えない不安
- 二人の関係に影を落とす

心の迷いがもたらす後悔



友人の相沢

- 出世のチャンスを持ち掛ける
- 条件：エリスと別れて日本へ帰国

豊太郎

- 軽率にエリスと別れる約束
- エリスに伝えず罪悪感から倒れる
- エリスは発狂 ⇒ 豊太郎帰国

